



# くれ

931号  
2022年5月2日  
郵政産業労働者ユニオン  
呉支部発行



←中国地本HPへ  
PC・スマホ等から  
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

## 配達効率化の危険性

### 施錠解除し配達報道

郵便物を配達する際、社員が施錠解除してポストに投函されたケースがあると報道された。

会社は、ポストに入らない場合は不在通知を投函するよう指示している。開錠されたポストは数字を合わせて施錠するタイプが多いという事だ。配達する際はトラブルとならない注意や配慮が求められる。

### 配達の複雑化

葉書や定型外郵便、ゆうメールなど、信書や請求書など書類を扱う事が主であった。

しかし、ネットの普及により、医薬関係品や生花、食品など多種多様な物が郵便物として配達される事が多くなっている。

生花の場合は、不在通知を入れず、ポストに差し置きする指示が記載されるなど、会社の方針とは異なる事もあり、現場が混乱し兼ねない郵便物が増えていく。

これまでは、宛名不完全で還付されていた配達先の氏名が無い、住所のみで配達するサービスも始まった。

更に、差し置き指示の郵便物サービスも始まり、取扱いは難しくなる。

「チャイム無し、玄関前」となっているが、マンションの為、玄関前に入れない場合や、「宅配ボックス」指しで「宅配ボックス」がないなど、意味不明な指示が記載されている場合もある。



【春闘の不誠実回答に対してスト決行】

また、差し置きの場合には盗難のリスクも高くなり、郵便物が盗難された場合の対応なども危惧されている。

差し置いた郵便物がないと申告された場合、社員が疑われて事情聴取などが行われる様であれば、業務に支障が出ることも予想される。

サービスに対する業務資料はあるが、盗難などトラブルとなった場合の対処に関する資料は確認できておらず、不安と感ずる事もあるだろう。

問題が起きた場合は、社員に責任を押し付ける風習が、かんぽ問題等でも明らかであるから、その心配は当然である。

安心して働ける配慮を会社は示すべきだ。

### 新携帯端末の導入

携帯端末にバーコードを入力すると自動的に効率的な配達道順を示す、新携帯端末が一部配備され、運用されている。

実際に仕事で使う端末であるが、便利と言えない不備もある。

データが入っていない場合は手入力するなど、余分な手間がかかる事や、料金に対応していない為、これまでの端末も同時に使

う必要がある。

位置情報などのテレマテイクス端末を含めると1人で三台の端末を持つ可能性があり、無理ムラ無駄の象徴と言える。

そもそも現在業務で主に使用している携帯端末機は特注の為、金額の割に性能は低い。

逆にスマホで専用アプリさえ出れば、一台で全ての業務が完結できる上、一般流通品の為、経費も大幅に抑えられる。

端末一台で業務ができる状態になつてから配備するべきだ。

端末リース代など経費も掛かり、コスト管理意識の欠如と言えそうだ。

社員にとつても、効率、負担、リスクのどの面でも考えてもマイナス面しかない

全国的にみれば、携帯端末機の紛失も発生しており、端末を複数台持てば、紛失や故障リスクが高くなる事への認識が足りていないと判断できる。

### バイク管理

郵便物や荷物を載せ、急こう配や悪天候でも配達に欠かせないバイク。

組合は、バイクのエンジンオイルやタイヤなど、現品より少し良い部品に変更する様に要望を出した。

バイク自体は一般流通品であるが、使用部品の品質が悪いからである。

一般使用より過酷な使用状態となる為、普通であれば、一般使用品より良い部品を使っていると思つている社員もいるかもしれないが、実は一般使用品より安い部品を使っているのが実態である。

社員にとつてバイクトラブルは命に関わる危険が高い問題だけに改善が望まれる。

会社は部品などを一括購入で経費を抑えているが、品質の低い部品を使う事で、バイクに負担がかかり、故障などで、社員に危険が及ぶ事を認識するべきだ。

### 今後の予定

- 5月10日(火) 17:00~  
第7回呉支部執行委員会  
支部事務所

次号は 5月17日(火) 予定